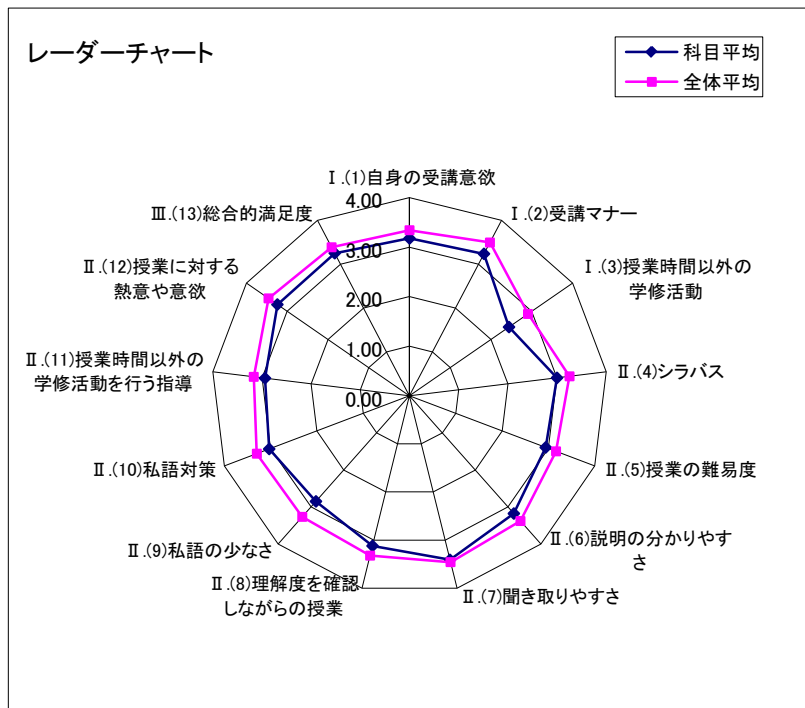
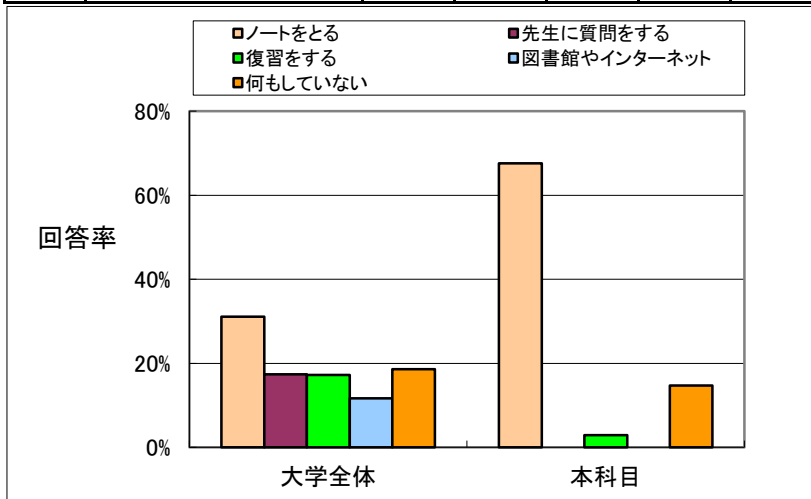


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉					
	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	67.6	0.0	2.9	0.0	14.7



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.18	3.34
	I.(2)	3.24	3.49
	I.(3)	2.44	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.00	3.26
	II.(5)	2.94	3.16
	II.(6)	3.18	3.38
	II.(7)	3.41	3.46
	II.(8)	3.12	3.32
	II.(9)	2.85	3.27
	II.(10)	3.03	3.30
	II.(11)	2.94	3.17
	II.(12)	3.24	3.46
	総合評価	III.(13)	3.25

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	2.95	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.08	3.31
総合評価 III.(13)	3.25	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	3214
科目名	財政学Ⅱ/財政学
教員名	

①授業計画の達成度について
今年度後期の本科目については、10月に1ヶ月間病氣入院したということで、受講生の皆さんには迷惑を掛けました。その分については補講を行い、ほぼ授業計画を終了しましたが、補講の日時に出席できないという受講生もあり、不満の声も聞いておりました。アンケートにおいて全体的に評価が下がったことについては、そういった影響もあろうかと推測しています。

②授業の進め方について
「授業を理解するための工夫」において、「ノートをとる」が突出していることが表しているように、板書をしてノートを取ってもらうことを中心に授業を進めています。自分でノートを取ることが一番理解に繋がるという考えでやっています。口述筆記もやってほしいのですが、現状では可能な限り板書することで進めております。「板書のスピードが速く追いつかない」という自由記述の意見も頂きました。今後はその点についてはもう少し考えたいと思っています。プリント配付を望む声も一部で聞きましたが、「プリントがあればノートは取らないで済む」ということになるのを防ぐために、プリント配付は最小限にしました。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
全体的に評価が低くなったことについては、上述したように、1ヶ月間病氣入院したということで迷惑を掛け、補講の日程も受講者全員の希望に沿うものではなかったこともあろうかと反省しております。その点を差し引いたとして、受講生が例年とは異なっており、2年次生が大半であったということや留学生も多数受講してくれたということから、内容面について今後精査が必要だと思えます。